

(第五號樣式)

雜

新		更				至全	自昭和	使用期間	面積	市郡 村町 大字 字 番	使用箇所及面積	目的				
至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自										
年	年	年	年	年	年	年	年	許	可	使一 用ヶ 料年	當一 使ヶ 用年 料坪	坪	備	考	市郡 村町 大字 番地	使用者住所氏名

一七六

(紙表)

(第六號樣式)

堤防使用許可臺帳

何土木出張所

(第六號樣式)

川沼名 路線		占使		川沼名 路線		占使		川沼名 路線	占使	川沼名 路線	占使																																	
至	自	至	自	至	自	至	自																																					
年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	月	月	月	月	月	月	月	月	日	日	日	日	日	日	日	日	年	年	年	年	年	年	年	年	一ヶ年 使用料	目的	ノ工 種類	許	可	摘	要	郡 村町 大字 番地	地先 氏住用占 名所人使

雜

一七七

要摘	履 歷 摘 録			現 住 所	本 籍 地	位	職 名
	動 異 給 俸			所	地	勤 官	
	月	月	月				氏
	日年	日年	日年				
	月	月	月	轉 免	在 勤		
	日年	日年	日年		年		
	月	月	月		年		
	日年	日年	日年		月		
	月	月	月		年		
	日年	日年	日年		月		
	月	月	月		日		
	日年	日年	日年		日		

(紙 表) (第八號様式)

所 員 名 簿

何 士 木 出 張 所

雜

線		年度		工事		竣工		功 功		額		計		工事概要		工事長		工事幅		竣 功		摘 要	
番 號	工 事	郡 市	町 村	大 字	工 費	潰 地 費	物 支 費	障 障	障 障	障 障	障 障	障 障	障 障	障 障	障 障	障 障	障 障	障 障	障 障	障 障	障 障	障 障	障 障
					円	円	円	円	円	円	円	円	円	米	米	米	米	米	米	米	米	米	米

備考 本臺帳ハ各線路毎ニ別紙トシ道路橋梁ノ改修狀況ヲ記載スルモノニシテ保存的工事ハ之ヲ記入セサルモノトス

(紙 表) (第七號様式)

工 事 臺 帳

何 士 木 出 張 所

(第九號樣式)
備人姓名簿

要 摘	履 歷 摘 錄			雇 備	現 住 所	本 籍 地
	年	月	日	年	月	日
動 異 料 給	月	月	月	昭 和	備 人 別	氏 名
	日 年	日 年	日 年	年		
	月	月	月	年	年	月
	日 年	日 年	日 年	日		
	月	月	月	年	年	日 生
	日 年	日 年	日 年	日		

何 土 木 出 張 所

(第十號樣式)
出 勤 簿

就 任	轉 免	年	年	月	月	日	日	官 職	氏 名	何 土 木 出 張 所	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六
											日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日

備考

一、所員内勤ノ時ハ出勤簿ニ捺印シ外勤ノ場合ハ「出張」ノ印ヲ捺捺スヘシ
 一、缺勤遅刻早退其ノ他ノ事故ハ凡テ墨書ノコト
 一、休暇又ハ賜暇ヲ爲シタルトキハ其ノ旨朱書ノコト

(第十五號樣式)

(紙表)

日

誌

(第十五號樣式)

何土木出張所

月日	七曜	天候
内着	譯信	
請頁事項ノ概要		
検査檢收ノ概要		
來所員職氏名		
出張者職氏名並出張先及其ノ用務		
其ノ他		

備考 着信内譯ハ信書小包等ノ別及差出人ヲ記載スヘシ

(第十六號樣式)

昭和年月日 何土木出張所長

内務部長宛

打切工費調書

何郡何町村大字何々地先

一、何々工事

此工費金何程

内

昭和何年度内進行歩合何分何厘(強弱) 打切工費額

此工費金何程

(第十七號樣式)

昭和年月日 何土木出張所長

内務部長宛

昭和何年度工事箇所表

經常部

道路修繕(橋梁修繕)

緩急	路線	番號	河海	名郡	町村大字	長	坪數	工費	摘	要
一									砂利敷土留板柵等	
二										
計										

備考

- 一、經常部臨時部ニ大別シ道路修繕橋梁修繕護岸修繕堤防修繕道路改築橋梁架換護岸新設堤防新設等ノ順序ニ記載シ一路線若ハ一河海名毎ニ計ヲ付シ工種毎ニ小計ヲ附シ最後ニ合計ヲ附スヘシ
- 二、緩急番號ハ施行ノ緩急ヲ計リ順次之ヲ付スヘシ
- 三、摘要欄ニハ一工事毎ニ設計ノ大要ヲ掲記スヘシ
- 四、橋梁ニ在テハ長巾ノ欄ニ板又ハ石ト記シ其ノ橋質ヲ明ニスヘシ

甲 (第十八號樣式)

測點番號		工種		長		巾(上下巾) (高法)		巾均平 (法高)		平積		摘		要	
至自		至自		至自	米	至自	米	至自	米	至自	平方米				
至自		至自		至自		至自		至自		至自					
至自		至自		至自		至自		至自		至自					
至自		至自		至自		至自		至自		至自					
至自		至自		至自		至自		至自		至自					
至自		至自		至自		至自		至自		至自					
至自		至自		至自		至自		至自		至自					
至自		至自		至自		至自		至自		至自					
至自		至自		至自		至自		至自		至自					

(第十八號樣式)

豫定工程書

千 葉 縣		此 工 程		工 事 番 號		工 種		路 線 河 海 沼 名		郡		町 村 大 字		着 功 手		工 事 日 數	
工 事 費 / 十 分 /	進 捗	第 一 日 迄	備 考	工 事 番 號	工 種	路 線 河 海 沼 名	郡	町 村 大 字	着 功 手	工 事 日 數	昭 和 年 月 日	昭 和 年 月 日	工 事 日 數	工 事 日 數	工 事 日 數	工 事 日 數	工 事 日 數
工 事 費 / 十 分 /	進 捗	第 二 日 迄															
工 事 費 / 十 分 /	進 捗	第 三 日 迄															
工 事 費 / 十 分 /	進 捗	第 四 日 迄															
工 事 費 / 十 分 /	進 捗	第 五 日 迄															
工 事 費 / 十 分 /	進 捗	第 六 日 迄															
工 事 費 / 十 分 /	進 捗	第 七 日 迄															
工 事 費 / 十 分 /	進 捗	第 八 日 迄															
工 事 費 / 十 分 /	進 捗	第 九 日 迄															
工 事 費 / 十 分 /	進 捗	第 十 日 迄															

(第十九號樣式)

				昭和 年 月 日		何 土木出張所長	
				内務部長宛			
				雜收入調書			
				收入豫定額			
				種類		摘要	
橋梁古材				何處橋梁修繕古材何々			
道路古材							
何々							
計							

(第二十號樣式)

				昭和 年 月 日		何 土木出張所長	
				内務部長宛			
				工事繰越調書			
				道路復舊(又ハ橋梁復舊等)			
工事 番號	豫算高	流用	豫算	路線 名	工事 箇所	實 額	豫 算 現 額
		增(減)	合計				
					郡 町村 大字	計	繰 越 額

備考

- 一、本表ハ豫算種目ノ異ナル毎ニ別紙ニ記載スヘシ
- 二、工事ハ一廉毎ニ工事箇所、工費、土地、移轉費等ニ區別シテ明記シ一路線若ハ一河海毎ニ計ヲ附シ且ツ末尾ニ合計ヲ附スヘシ
- 三、豫算ノ配當ヲ受ケタル後流用等ノ爲増減アルトキハ増ヲ黒書シ減ヲ朱記スヘシ
- 四、繰越部分ハ工費ヨリ打切額ヲ差引タル殘額ヲ掲クヘシ
- 五、打切額ハ三月三十一日迄ニ進行シ得タル部分ノ工費ヲ掲クヘシ

土木出張所規定等制定ノ件

(昭和四年五月十一日第一、九〇七號)
(各土木出張所長宛内務部長通牒)

今般訓令第七號ヲ以テ土木出張所規定等制定ノ件訓令相成候處從前ノ工區規定等ハ其ノ運用上遺憾ノ點不尠ヲ以テ今回之ヲ廢止シ新ニ土木出張所規程等ヲ制定セラレタル次第ニシテ新規程ハ道路法並ニ其ノ附屬法令トノ連絡ヲ圖リ必要ナル手續等ヲ規定スルト共ニ一面所長ノ權限ヲ擴張シ事務ノ簡捷ト能率ノ増進ヲ期シ事務ノ刷新改善ヲ圖ラントスル趣旨ニ外ナラス候ニ付能ク所員ニ對シ制定ノ趣旨ヲ徹底セシメ實施上遺憾ナキヲ期スルト共ニ左記各項ニアリテモ充分御留意ノ上措置相成度依命此段及通牒候也

記

一、土木出張所在勤者ノ執務時間ハ公務ノ都合上早出居殘ヲ必要トスル場合ヲ除キ左ノ通定メタルヲ以テ服務上留意スヘキコト

十一月一日ヨリ翌年三月末日迄

午前八時三十分 出勤

午後五時 退廳

四月一日ヨリ十月末日迄

午前七時三十分 出勤

午後五時 退廳

一、從來土曜及日曜ノ勤務ハ往々緊張ヲ缺ク向ナシトセス今回制定ノ土木出張所規程ニ於テハ二月乃至十一月中ニ於テ事務ノ都合ニ依リ毎月二日以内ノ休暇ヲ與ヘラレタルヲ以テ之カ趣旨ヲ體シ所員ノ勤務上遺憾ナキヲ期スルコト

前項休暇ヲ爲サントスルトキハ所員ハ所長ニ所長ハ知事ニ休暇届ヲ提出スルコト

一、改正様式ニ依ル臺帳類又ハ事務上必要ナル用紙等ハ印刷ノ上送付ノ見込ナルヲ以テ其ノ到着ヲ俟テ逐

次整理シ當分舊様式ノモノヲ使用シ差支ナキコト

一、土木出張所處務細則第三十一條ニ依リ備付クヘキ地圖ハ參謀本部發行五萬分ノ一トシ管内ニ於ケル國府縣道縣管理ニ屬スル堤防護岸水門及鐵道軌道等ヲ記入スルコト

工區事務監查規定

(昭和二年十二月訓令第七號)

第一條 工區事務ハ知事ノ指定シタル官吏吏員ニ於テ

少クモ毎年一回之ヲ監查スヘシ

第二條 監查スヘキ事項ノ概要左ノ如シ

一、土木ニ關スル一般ノ狀況

一、吏員配置ノ適否

一、吏員ノ勤怠風紀及其他服務ノ狀況

一、主幹管内巡視ノ狀況

一、土木工事執行ノ當否

一、土木工作物維持修繕ノ適否

一、道路河川港灣等取締ノ狀況

一、縣費補助工事監督ノ狀況

一、傭人監查ノ狀況

一、經費ノ支拂及物品取扱ノ當否

一、縣有財產管理ノ適否

一、書類簿冊及圖面ノ整否

第三條 監查員監查ニ際シ違法又ハ錯誤アルコトヲ發見シタルトキハ事ノ輕微ナルモノニ限り工區主幹ニ

注意シ更正セシムルコトヲ得

第四條 監查上必要アルトキハ口頭又ハ文章ヲ以テ辨

明ヲ求ムルコトヲ得

第五條 監查員ノ監查シタル事項ハ歸廳後速ニ知事ニ

復命スヘシ

第六條 本規程ハ工區以外ノ土木事務ニ關スル監查ニ之ヲ準用ス

附 則

明治三十三年三月訓令乙第二〇號ハ之ヲ廢止ス

常工夫表彰規程

(昭和四年四月縣訓令第十二號)

第一條 常工夫ニシテ品行方正職務ニ精勵シ他ノ模範トナルヘキ者ハ本規定ニ依リ之ヲ表彰ス

第二條 表彰ハ毎年三月其ノ年度内ニ於ケル成績ニ據リ之ヲ行ヒ表彰狀及金品ヲ併與ス但シ場合ニ依リ表彰狀ノミヲ授與スルコトアルヘシ

第三條 表彰ヲ受ケタル者ニハ左記雛形ノ徽章ヲ貸與シ貸與ノ日ヨリ一箇年間法被ノ左襟ニ佩用セシム但シ佩用期間滿了シタルトキハ五日以内ニ之ヲ返納セシムヘシ



地金銅製徑一吋一分橫徑七分

七寶白地濃綠色月桂樹ヲ抱合中央ニ

赤色ニテ優ノ字ヲ表シ其ノ上部ニ金

色ニテ縣章ヲ表シ銀色ノ輪廓ヲ附ス

(參考)

工費參万円ニ對スル建築雜費調

名稱	區分	數量	單價	價	金額	額	備	考
雇	給	1人	500円	000	600円	000	拾貳ヶ月分	
監	旅	6月	60	000	360	000	土木技手又ハ工手	
調	費			000	100	000	全上	
原	紙	20枚		400	8	000		
設	紙	500枚		008	4	000		
青	用	60枚		020	12	000		
鉛	紙	15本		250	3	750		
消	筆	1個		250		250		
其	筆			250		250		
他	筆			250		250		
計	計				112	000		
					1,200	000		

參万円雜費=1,200円

備員ニ辭令書交付ノ件

(大正九年十月土第二三二二號)
(各工區主幹宛 内務部長通牒)

工區主幹ニ於テ專行若ハ承認ヲ經テ採用及昇給或ハ罷免スル各工夫ニ對シテハ爾後工區主幹ニ於テ左式ノ辭

令書ヲ作製交付セラルヘク此段及通牒候也

(採用辭令樣式)

(道路河川測量)工夫ヲ命シ日給金(何程)給與

年 月 日

千 葉 縣

職 氏 名

(罷免辭令樣式)

(願ニ依リ)(何)工夫ヲ免ス

年 月 日

千 葉 縣

職 氏 名

(昇給辭令樣式)

自今日給金(何程)給與

年 月 日

千 葉 縣

以 上

(用紙美濃半葉野紙)

縣廳直轄工事ノ件

(大正十一年三月庶第六五一)
(號土木課長宛内務部長通牒)

廳舎其他ノ建築並ニ修繕ニテ其ノ工費豫算額一廉參百圓以上ノモノハ該經費ヲ縣廳ニ留置直轄ヲ以テ工事ヲ施工スヘキ旨明治四十一年三月中決定相成居候處大正

十一年度ヨリ一廉參百圓ヲ一廉千圓ニ改メラレ候條御承知相成度此之段及通牒候也

建築技術員市内ニ於テ工事監督ニ從事スル場合手當支給ノ件

(大正十一年十月)
(縣訓令第一七號)

- 第一條 建築技術員千葉市内ニ於テ參拾日以上繼續シ工事ノ監督ニ從事スル場合ハ別表ノ範圍内ニ於テ手當ヲ支給スルコトヲ得
- 但シ他ノ規定ニ依リ旅費ヲ受クルトキハ此ノ限りニ在ラス
- 第二條 手當ヲ受クヘキ者病氣其他自己ノ便宜ニ依リ五日以上引繼キ工事ノ監督ヲ欠キタルトキハ前條ノ適用ニ付テハ繼續セサルモノトス
- 工事ノ監督ニ從事セサル日數五日未滿ニシテ繼續シタルモノト見做サル、場合ニ於テモ其ノ從事セサル日數ハ手當ヲ支給セス
- 第三條 手當ノ支給額ハ出張命令ノ際之ヲ定ム
- 第四條 手當ノ支給方法ハ前各條ニ定ムル外縣費支辨給料手當及旅費支給規則第十五條第三項及第二十四

條ノ例ニ據ル

附 則

本令ハ大正十一年十一月一日以降工事ノ監督ニ從事スル者ヨリ之ヲ適用ス

別 表

種 別	日 額	手 當
俸給又ハ給料年額ヲ受クル者	壹 圓	五 拾 錢
俸給又ハ給料月額ヲ受ク者	八 拾 五 圓	以 上
八 拾 五 圓 未 滿		九 拾 錢
		八 拾 錢

市町村長委任事項(抄)

(大正十五年六月 縣令第五七號)

第二條 左ニ掲クル事項ハ府縣制第八十條ニ依リ之ヲ市町村長ニ委任ス

- 一、縣費支辨ニ屬スル道路、河川、堤塘占用料收入(縣外居住者ヲ除ク)ノコト但シ占用區域ノ數市町村ニ涉ルモノハ許可ノ際指定シタル關係市町村長トス
- 二、縣費支辨ニ屬スル道路、河川、堤塘ノ產物賣拂代

收入(縣外居住者ヲ除ク)ノコト

三、縣土木工事(建築ヲ除ク)ノ不要古材賣却收入ノコト

附 則

本令ハ大正十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

市町村長委任事項ニ關スル件

(大正十五年七月 縣訓令第七七號)

- 市町村長委任ニ關シ左ノ通心得ヘシ
- 一市町村長委任事項第二條中占用料其ノ他ノ收入ニ關シテハ許可指令書ノ經由又ハ處分ノ通知ニ依リ收入ノ手續ヲ爲スヘシ

占用料徵收ニ關スル件

(昭和二年十二月十四日 縣令第四九〇四號) 各市町村長宛 內務部長通牒

道路河川及堤防占用料ノ收入ニ關シテハ大正十五年六月三十日千葉縣令第五十七號第二條第一號ヲ以テ市町村長ニ委任相成候處右ハ占用ノ許可ニ基キ收入ノ手續ヲ爲スヘキニ不拘往々占用期間滿了ノモノニ對シテモ

(昭和四年五月十八日 縣令第七二八號各) 土木出張所長宛 內務部長通牒

實際占用スルノ故ヲ以テ料金ノ徵收ヲ爲スモノ有之取扱上遺憾ノ義ニ有之候條爾今收入ニ際シテハ特ニ許可ノ期限ニ注意相成度此段及通牒候也

自轉車鑑札取締ノ件

(昭和三年五月十七日 縣令第七七一號) 各工區主幹宛 內務部長通牒

工區員所有ノ自轉車ニ關シテハ常ニ現場ヲ巡回スルノ利便ト事務ヲ迅速ニ處理セシメンカ爲縣ニ借上ケ課稅外鑑札交付ノ手續ヲ採リ來リ候ニ付本人ニ於テ事故已ミタルトキ該鑑札ハ直チニ之ヲ返納スヘキハ勿論ノ義ニ有之候處偶々其ノ手續ヲ爲サ、ル者有之哉ニ及聞取締上甚タ遺憾ニ存候ニ付爾今本人ノ退職死亡若ハ縣外ニ出向等ノ場合ハ主幹ニ於テ必ス之ヲ返還セシメ他ニ使用スルカ如キコトナキ様嚴重御取締有之度此段及通牒候也

縣費支辨道路延長幅員勾配届曲表及橋梁表提出ノ件

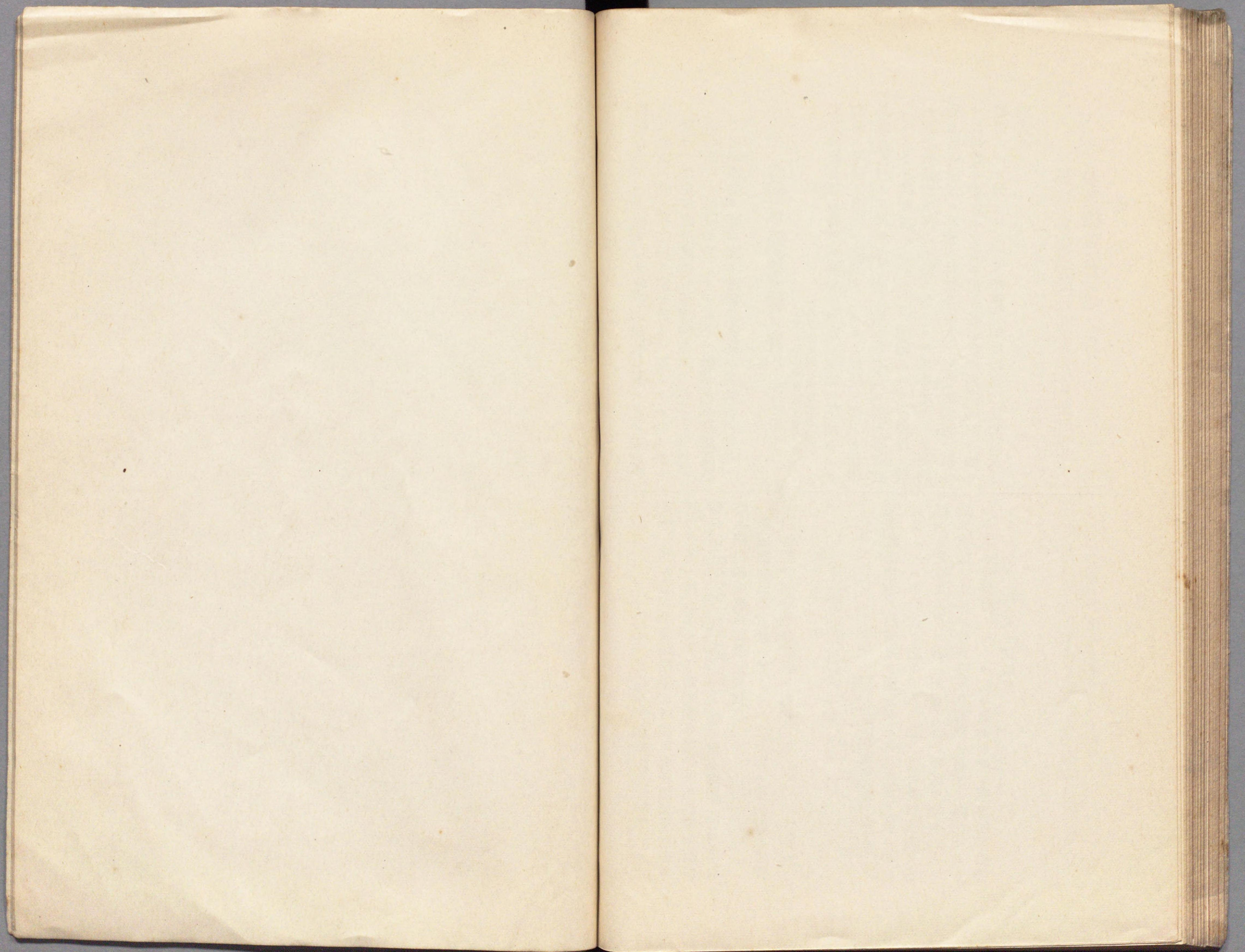
縣費支辨ニ屬スル道路橋梁ノ每年末現在標記統計表ヲ昭和三年一月三十一日千葉縣訓令第一號內務報告材料調査例(縣訓令第一七號一部改正)ニ依リ爾今翌年四月末日迄ニ提出相成度此段及通牒候也

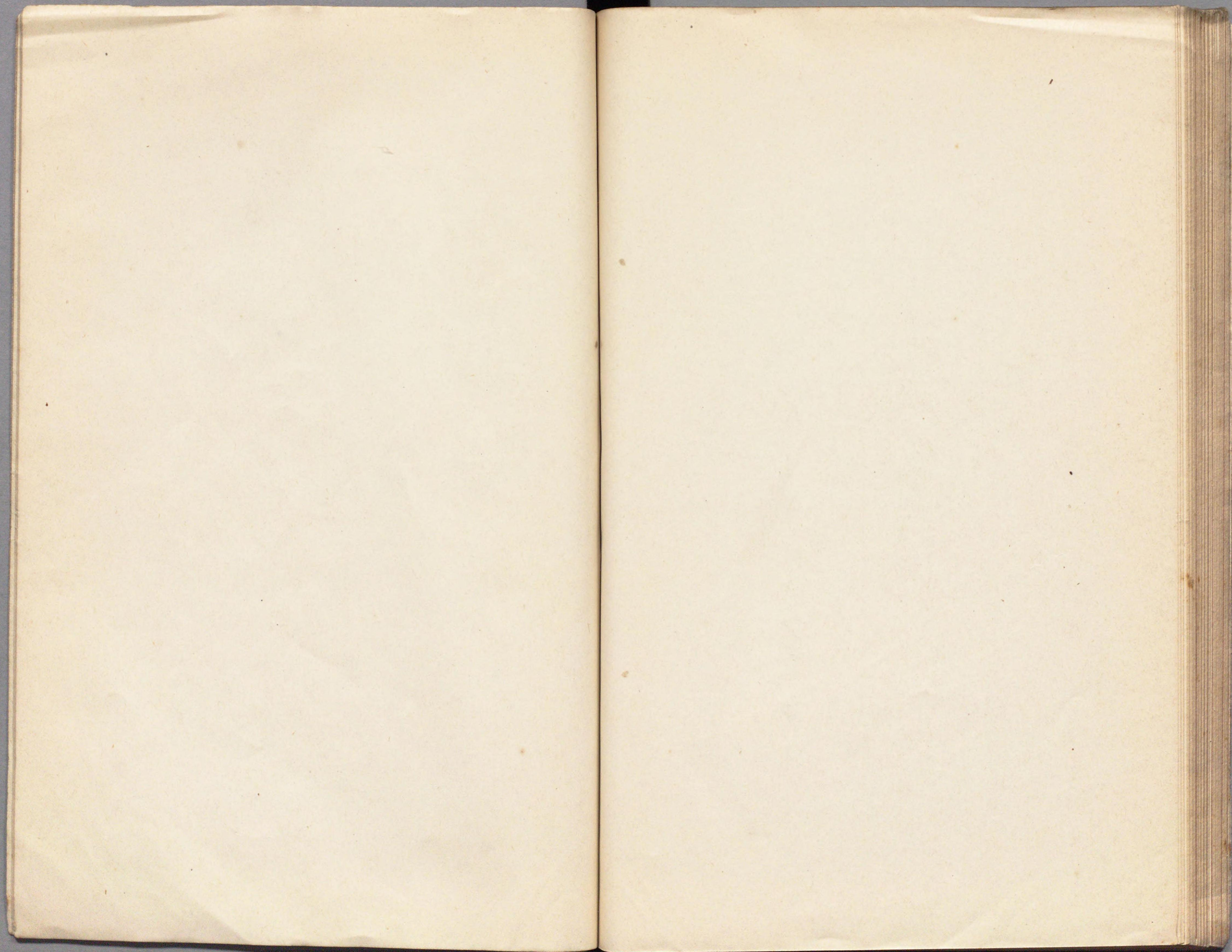
追而昭和三年末分ニアリテハ此際速ニ提出相成度尙內務報告調査例添付候ニ付申添候

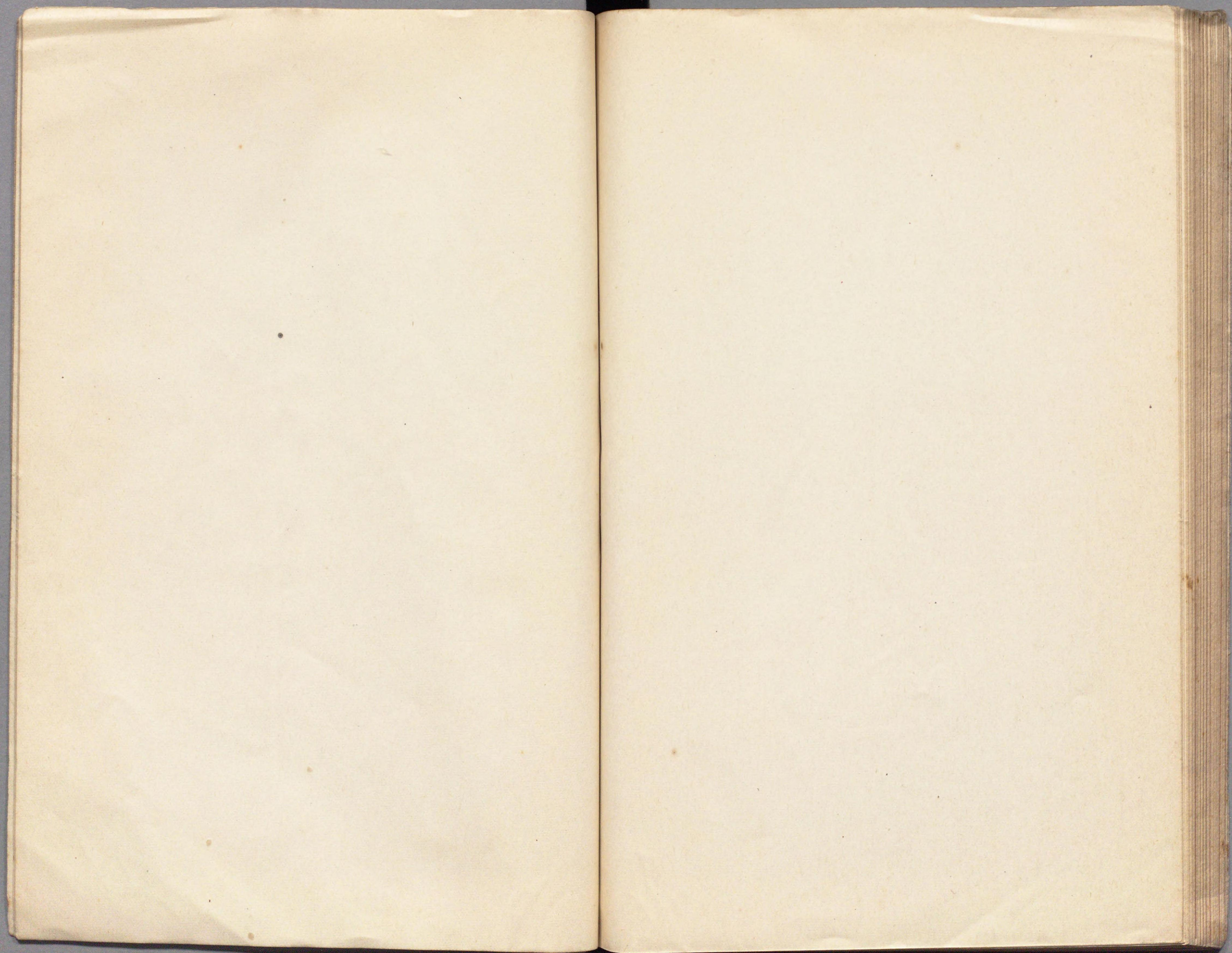
工事監督日誌ニ關スル件

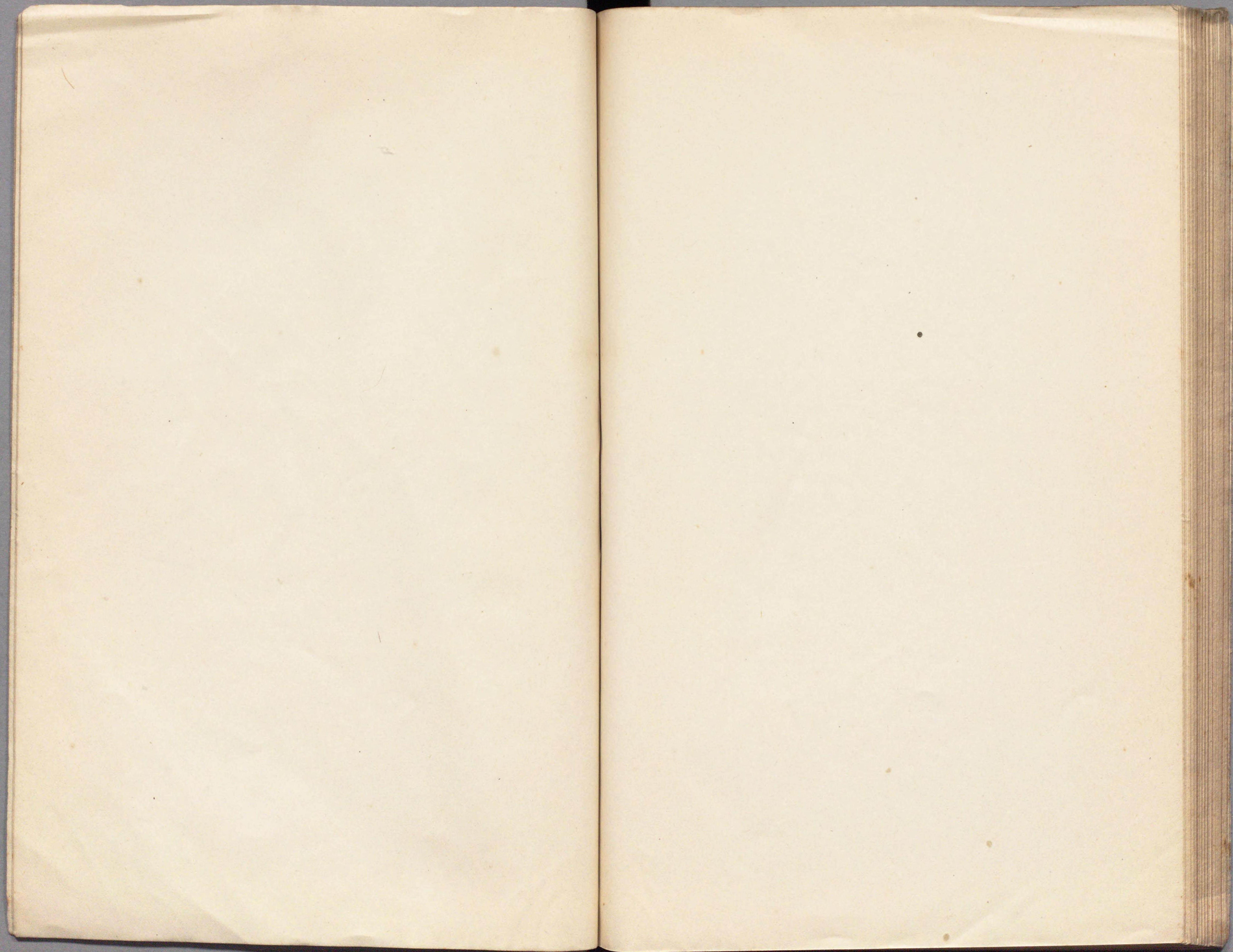
(昭和四年六月 縣令第二四四七號) 各土木出張所長宛 內務部長通牒

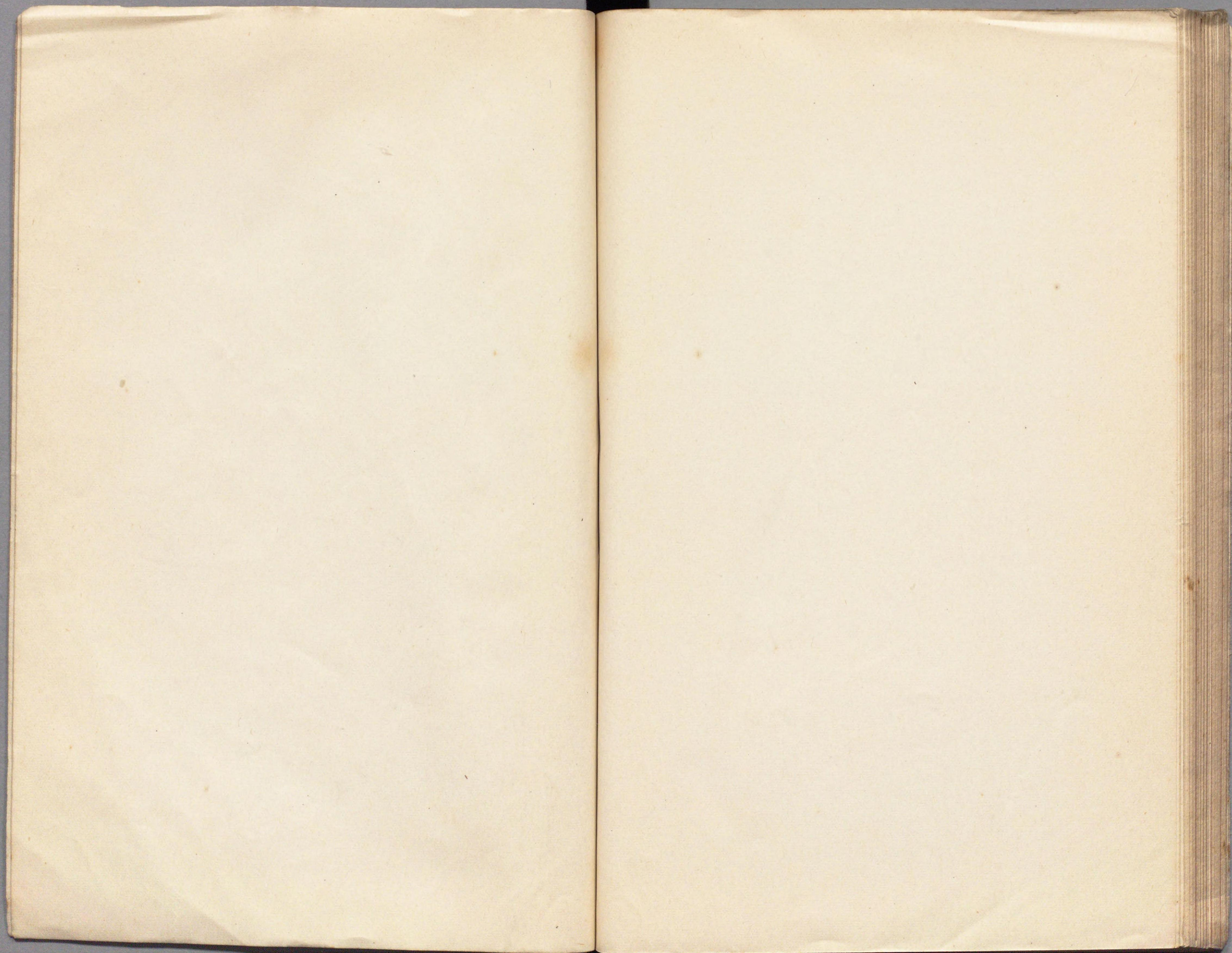
工事監督日誌ノ記載方ニ關シテハ日誌携帶心得ニ規定セラル、ニ不拘往々之カ記入ヲ怠リ又ハ記載事項ヲ省略スル向少ナカラス右ハ所員監督ノ徹底ヲ期スル上ニ於テ遺憾ノ次第ニ付爾今所要事項ノ記載ヲ勵行セシムルト共ニ使用濟ノモノハ直ニ返納セシメ事務所ニ保管セラルヘク此段及通牒候也

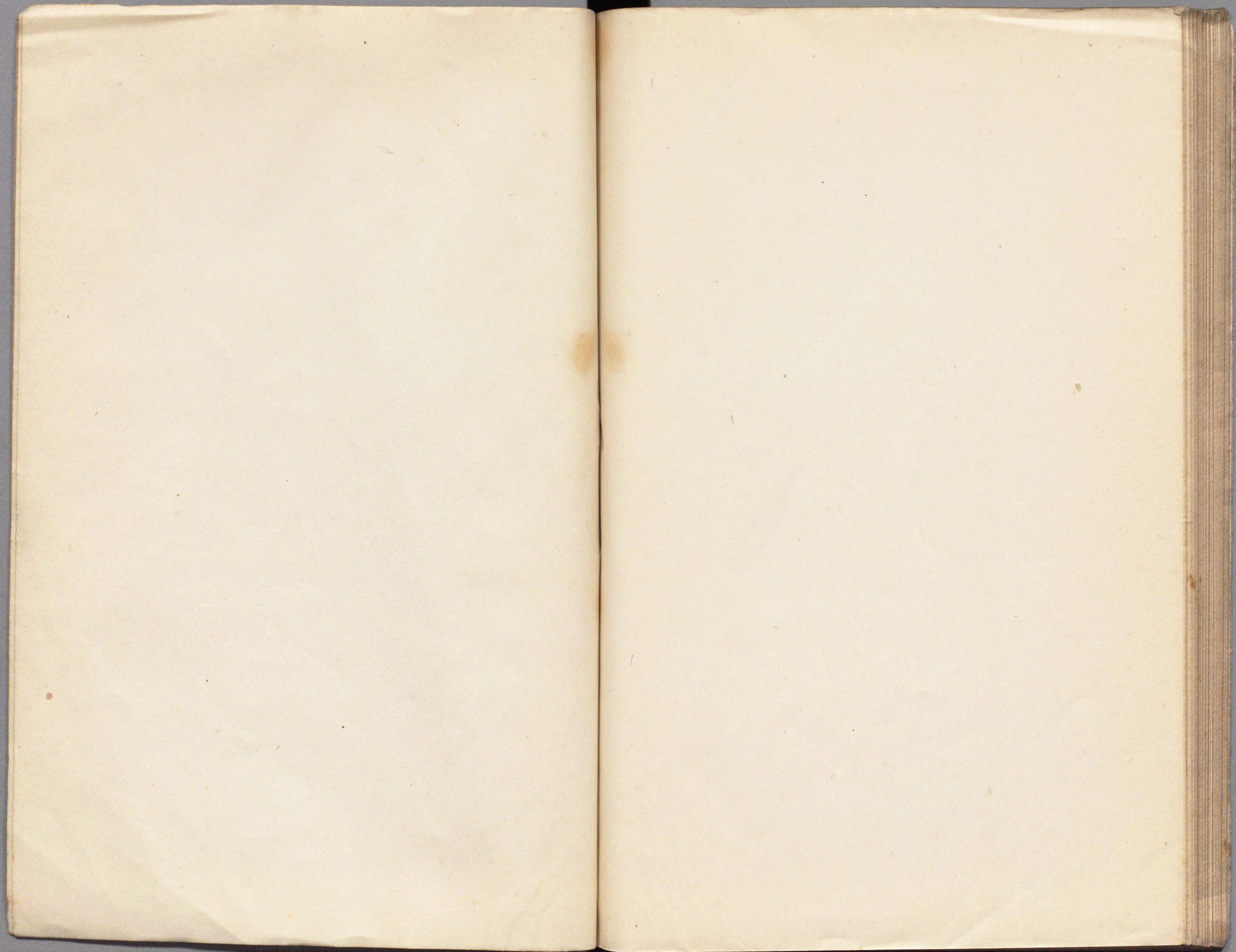


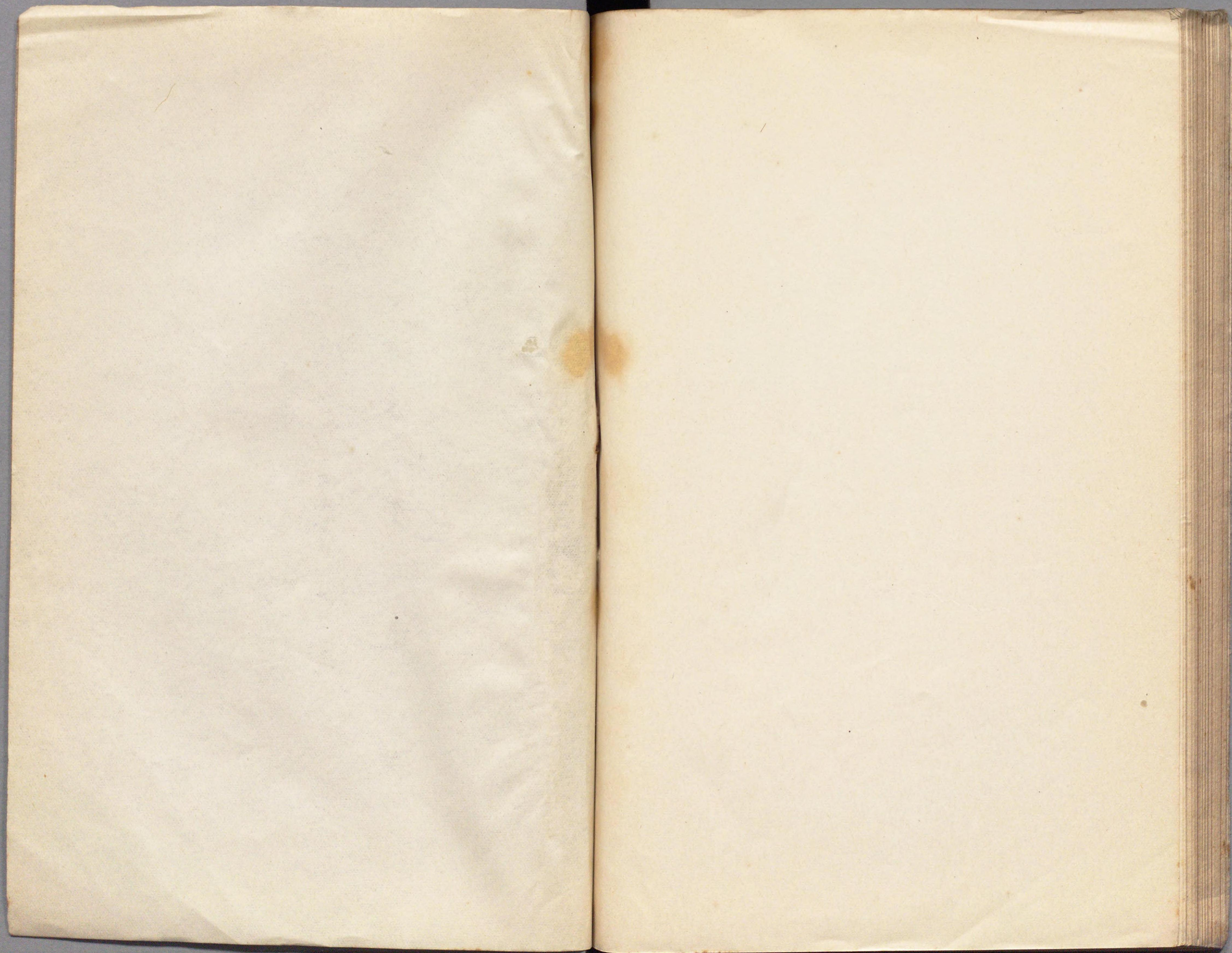












昭和四年九月卅日印刷

昭和四年十月五日發行

著 者

千

葉

縣

千葉市本町三丁目五四八

印 刷 所

千 葉 活 版 所

千葉市本町三丁目五四八

印 刷 者

岩 倉 順 造

